

井草会報

2002
No.35

発行 井草会・会報委員会
練馬区上石神井2-2-43
東京都立井草高等学校内

井草高校への新風！

～燃える井草会～

会長 遠矢良隆

都立高校が変わろうとしています。学区の廃止、週5日制によるカリキュラムの変更など新たな対応を迫られています。特色ある学校づくりのためには、井草会も積極的に協力していく必要があると考えます。

一昨年に都教育委員会が設置した“魅力ある学校づくり”のための「学校運営連絡協議会」に私も参加し、幾つかの提言を行いました。

井草会は、すでに2万名を超す卒業生が参加する大きな組織となりましたので、どの世代の方も“気になる”ような同窓会にしたいと考えています。幸い、同じ心の多くの幹事や理事の方々の協力により、活動が支えられています。

隔年に実施される「同窓会」は、来年4回目を迎えますが、毎回400名近い方の参加で賑わっています。同時に開催される同期会やクラス会が再会を喜び合い、お互いの人生模様を語る貴重な機会となっています。次回も、さらに楽しい集いにしたいと考えています。

今年は、旧高女と現在の二曲の校歌を収めたCDを新たに制作いたしました。どうぞ側に置いてご利用ください。今後は、皆で歌う機会を増やしていきたいと考えています。いかがでしょうか？

今母校も変化の渦中にあります。井草会も伝統に創造を加えつつ、母校にも目を向けた幅広い活動を推進していく時であると思います。会員の皆様のご協力をおねがいいたします。



ご挨拶

校長 梅村和伸



日頃本校に対しまして、ご理解とご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。本年3月の卒業生も、よい進学結果を残してくれました。在校生は、生き生きと毎日の生活を送っております。

ご承知の通り、来年度より学区が無くなり、学校間の競争が一段と厳しくなるものと考えておりますので、是非とも学校に対しまして、一層のご理解と温かいご支援を、お願い申し上げます。最後に、井草会のみずますのご発展を祈念いたします。

ご挨拶

PTA会長 島田美佐子



PTA総会も無事終わり、新たな活動を開始しました。幾つかの課題もございますが、一つ一つ丁寧に、全力で取り組んで参りたいと思っております。同窓会のお力をお借りしながら、伝統ある井草を、さらにすばらしい高校にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

目次

井草高校への新風	P. 1
OB・OGインタビュー（弟子丸 千一郎氏）	P. 2
懐かしの校歌CDが遂に完成	P. 3
井草キャンパスニュース	P. 4
2001同窓会・同期会・クラス会開催報告	P. 5
援助金制度のご紹介	P. 7

井草の思い出（小倉 義文先生、菊地 広志先生）	P. 8
青山 兵吉先生追悼文、一言通信	P. 9
幹事総会報告、平成13年度決算・14年度予算	P.10
新役員紹介、井草祭・2003同窓会案内	P.11
寄付をいただいた方々	P.12
井草会ホームページが生まれかわります	P.12

OB・OG
INTERVIEW
弟子丸 千一郎さん(12回E)

TBSの音楽番組のディレクター、プロデューサーとして活躍され、特に、音楽番組全盛時代に高視聴率を続けたザ・ベストテンを立ち上げられました。その後、TBSの要職を歴任され、現在は、TBSの美術部門を担当する㈱アックスの社長をされています。



略 歴

- 昭和17年3月11日東京生まれ。
- 昭和23年 疎開先の佐賀県諸富町で小学校入学、6年生で練馬区豊玉第2小学校に転校。
- 昭和29年 学芸大学付属小金井中学池袋分校入学。
- 昭和32年 井草高校入学。
- 昭和36年 早稲田大学入学。
- 昭和40年 TBS入社。

Q 井草高校では、生徒会長をはじめ、いろいろご活躍でしたが、それについてお聞かせ下さい。

A 真田幸男校長先生の言葉に感激しました。「この学校には伝統はない。しかし伝統は与えられるものではなく、自ら創るものです。」
 剣道部に入りましたが、生徒会長の福間啓之さんに勧められ、副会長をすることになりました。放課後、生徒会をやっているという親も安心していました。
 板津直士君と出会い、ブラスバンドをつくらうということになりましたが、楽器がないので、音楽の近藤ちか子先生にお願いし、大野英雄先生にも協力を頂き、PTAから小太鼓とトロンボーンと小バスを買って貰い、吹奏楽部をつくることができました。6名の部員で、体育祭でデビューです。バイオリン同

好会と一緒に小さなオーケストラもつくりました。楽しい思い出一杯の高校時代でした。

Q 大学時代の思い出やエピソードは、如何でしたか？

A 1年浪人して早稲田大学に入学し、早速、早大ニューオルリンズ・ジャズクラブに入り、ジャズドラムを叩き始めました。グループサウンズが世に出る前で、今で言うアイドル的なものでした。大学のジャズバンドが来るという会場は昼、夜全て満員、土、日はコンサート、ウイークデーはダンス・パーティと大忙しでした。

3年生当時はマネジャーもしていました。TBSから大学対抗バンド合戦をやるから協力して欲しいと依頼がありました。音楽に順位をつけるのは反対で、断りましたが、再度強い要望があり、協力することにしました。

Q TBSに入られてから取り組まれたお仕事、ザ・ベストテンを中心に特に印象深かったものは？

A 音楽番組の制作を希望していたので音楽番組のアシスタント・ディレクターからスタートです。当時、音楽番組は全て低視聴率の連続で3~6ヶ月で打ち切り、打ち切りの連続です。そういう時に、会社から新番組のプロデューサーをやるようにいわれ、自由にやらせてもらうことで引き受け、ザ・ベストテンをつくりました。

ベストテンの順位はコンピューターで厳正に決定し、ベテランの黒柳徹子さんと当時売り出し中の久米宏君の司会でスタートしました。その頃、ニューミュージックの多くはTVに出ませんでした。TVに出るのは、アイドルが多く、ニューミュージックの人たちには一緒にされるのが我慢出来なかったのでしょう。

またスタジオに出演者を集めるばかりではなく、出演者の公演先からも中継することにしました。最初が肝心ですから制作費は多少掛かっても仕方がない、あとで回収ということでスタートしました。

最初、アリスの谷村新司さんの理解を得て、出演

OKをとり、これによってほかのニューミュージックの人たちも徐々に出演してくれるようになりました。絶対にTVに出ないといわれていた松山千春さんも2~3ヶ月掛かってお願いし、出演が実現しました。こうして番組に対する視聴者の信頼を得る事ができ、視聴率はあつという間に20、30%とうなぎのぼりで、最高42%まであがりました。

その後TV編成部に移りました。TV編成部は、視聴率戦争の参謀本部です。企画した主な番組は「欽ちゃんの週刊欽曜日」「風雲たけし城」、ドラマでは「積み木くずし」「スチュワーデス物語」、そして「世界ふしぎ発見」「サンデー・モーニング」等です。その後管理職となり、音楽バラエティの制作部長、ワイドショーの社会情報局長、事業局長、アナウンサーセンター長をつとめました。

Q 仕事で得られた教訓や心がけについてお聞かせ下さい。

A ザ・ベストテンはいろいろな不可能を可能にできました。このクリエイティブ精神を何時までも忘れないよう自分に言い聞かせ、皆にも言い続けています。真田先生の「伝統は与えられるものではなく、自ら創るもの。」の精神を忘れないようにしています。

Q 趣味、好みについてお聞かせ下さい。

A 編成部に移って、音楽現場から遠ざかり、寂しくなったこともあり、ドラムを再び始めました。大学の仲間がやっているバンドに入り、年1~2回ライブをやっています。また同級生の板津君とフルバンドをつくって、月1回練習しています。先日、渋谷でライブをやりましたが、井草12-E、Fの仲間が大勢集まってくれ同期会さながらでした。空いている日には自宅の防音室で家族、ご近所に迷惑をかけず練習しています。これは道楽に近い趣味ですね。今後も、続けていくつもりです。

本日は、お忙しい中、貴重なお時間を頂き、誠に有難うございました。今後ますますご活躍されます様、お祈りしております。



懐かしの校歌、遂にCD化する!!

♪♪♪ 入手希望の会員は、今すぐにお申込みを! ♪♪♪

卒業生はじめ先生方からも、久しく要望が高かった校歌CDが完成しました。昨夏京王プラザホテルで開催された同窓会のフィナーレを飾った二つの校歌斉唱は、私達をタイムスリップさせてくれ、興奮も最高潮に達し、楽譜だけでなく音で残しておけば、地方や外国にいても心をつなげられる!と湧き起こった強い要望が、制作への“GO”サインとなりました。



同窓生のスタジオをお借りして、旧高女の校歌(土岐善麿作詞、山田耕筰作曲)、現校歌(土岐善麿作詞、芥川也寸志作曲)

を、各卒業生が歌い、収録も全てボランティアで制作しました。

著作権使用料のことは、日本音楽著作権協会の担当者の方から作詞、作曲の先生方のご遺族にご連絡をいただき、「営利を目的としない一定の範囲内(在校生、卒業生、関連の先生方)で使用する」とを条件に、使用料免除のご了解をいただきました。

従って、今回のCDは、非売品として、ご希望会員には実費(制作原価・郵送料合わせて650円)で頒布しますので、この機会をお見逃しなく、是非お申込みいただきますようご案内いたします。

申込み方法: 同封の年会費振込票通信欄該当項目に点を付け、金額を変更し、送金してください。
(訂正金額欄に捺印願います)

CAMPUS NEWS

2001年度進路を振り返って

進路指導部 伊勢俊郎

現在、井草高校生は、8割以上が大学進学を目指し、女子の4年制大学志向も顕著です。今年は、既卒者、現役生ともに、大学入学者数が増え、東工大に現役入学するなど健闘しました。目標を持ち充実した生活を送った生徒が、その努力に相応しい進路を拓いたのが印象的でした。

2001年度進路状況

国公立大学	4名	東京学芸大1	東京芸術大1	東京工業大1	都立保健科学大1																				
私立大学	392名	東洋大42	日本大30	武蔵大28	法政大14	成蹊大12	帝京大10	東京経済大10	明治大10	専修大9	東京国際大9	中央大8	工学院大6	駒沢大6	東京理科大6	青山学院大5	学習院大5	実践女子大5	大正大5	大東文化大5	千葉工業大5	東海大5	東京農業大5	明治学院大5	立正大5
		立教大ほか8校：各4名		早稲田大ほか9校：各3名		東京女子大ほか17校：各2名		慶應義塾大ほか40校：各1名																	
短期大学	28名	専門学校	55名	就職	6名																				

私たちががんばっていま～あ!!!!

1. 書道部では・・・

山田由梨香（2年生）さんは、第14回東京都高文連書道展に「千字文」を出品し、見事に都教育委員会賞を受賞しました。この受賞によって、体育部門のインターハイにも匹敵する第26回全国高等学校総合文化祭への参加資格が与えられ、堂々の出展を果たしました。長年にわたる吉岡百々子先生の熱心なご指導のお陰と感謝しております。



2. 吹奏楽部は・・・

今年で第18回目となる演奏会は、初めて練馬文化センター大ホールで開催することができました。会場は、来賓、同窓会、学校・父兄の方々で埋まり、熱心に聞いていただきました。伊藤由紀先生が世界の作品を幅広く取り上げ、井草最後の指揮をとられ、生徒達も交代で指揮台に上り演奏しました。熱演に惜しみない大きな拍手がわきおこり、演奏会は大成功でした。



3. 女子硬式テニス部は・・・

フジ・カップのシングル戦に、神尾奈津子さんと代田希さんが出場し、堂々ベスト16入りを果たすこ

とができました。さらに、都高校選手権大会でも、浅井百合子さん・神尾奈津子さんペアは、予選を通過し、見事6回戦まで勝ち進みました。

4. 女子バレーボール部も・・・

昨年は、関東大会予選リーグ戦で、念願の優勝を果たしました。この自信を力に、これからも頑張ります!!

5. 女子バスケット部だって・・・

昨年8月の夏季大会でブロック優勝を達成! その勢いを駆って、第54回練馬区民体育大会でも準優勝を勝ち取りました。

その他の文化部・運動部も、それぞれの目標に向かって挑戦の日々を続けています!!

新任ご挨拶

教頭 佐藤 光一



本年4月より本校に着任した佐藤です。

「教科は保健体育（柔道）です。駒場高校で15年間、小石川高校で9年間、定時制課程の教頭として深川高校で4年間、井草高校が4校目です。

私の友人にも井草高校の卒業生が数名いて、親近感があった学校です。伝統ある井草高校の1ページに関わる光栄と責任を自覚し、教頭としての職責に全力を尽くします。よろしくお願いたします。」

先生往来

転入

(教頭) 佐藤 光一
(数学) 大山 武彦
(保体) 朝倉 知子
(音楽) 瀬戸 宏
(英語) 吉政 祥子
(英語) 金子 茂雄

(敬称略)

(前任校)

深 川
武蔵村山東
武蔵村山東
立 川
八王子東
桜 水 商

転出

(教頭) 寶槻 広
(国語) 橋本 洋介
(世界史) 田中 久雄
(保体) 鈴木 美津
(保体) 榎原 信二
(音楽) 伊藤 由紀
(英語) 国府方 進
(英語) 不殿 謙

(異動先)

忍 岡
大 泉
杉並総合
一 橋
清 瀬
芸 術
四谷商業
富 士 森

訃報

青山 兵吉 先生 (美術)
平成14年3月24日
赤塚 義 先生 (保健体育)
平成14年3月31日
飛岡 正治 先生 (校長)
平成14年4月17日
謹んでご冥福をお祈り申し上げます

21世紀 新しい出会い

2001同窓会



平成13年8月18日(土)に井草会同窓会が京王プラザホテルにおいて高女4、5回、高校1、2、11、12、23、24、52、53回の記念(招待)学年を中心に盛大に開催され、予定の2時間半は、あっという間に過ぎ、二次会の同期会、クラス会へと更に楽しい思い出作りの一日となりました。



同時開催された同期会・クラス会



高女5回・高校2回(同ホテル内)
古希を迎え会開催にも工夫が必要となってきました。

高校24回(新宿・メンバーズギルト)
吉瀬先生、岩崎先生、村野先生にご参加頂き30年の時を経て145名の同窓生が集い、皆の井草に対する深い思いを共有しました。



高女4回・高校1回(同ホテル内)
井草と言う縁(えにし)でしっかりと結ばれています。



高校11回(同ホテル内) 懐かしいフォークダンスの曲であの頃に戻りました。



高校12回C組(同ホテル内)
遷暦を迎え5年ぶりのクラス会を開催しました。
小田島先生もクラス会に飛び入り参加して頂き同窓会に引き続き楽しい一時を過ごしました。

同期会 クラス会 OB・OG会



高校4回B組 H13年11月13日 (小田急ホテルセンチュリーサザンタワー)
青山先生ご夫妻を迎えて。



高校7回B組 H13年4月14日 (赤坂プリンスホテル)



高校7回E組 H13年10月20日
65才を記念した一泊二日の塩原温泉旅行・クラス会を開催。



高校4回E組 H13年11月21日
昨年春の鎌倉散策のクラス会が大好評で今回は秋を楽しみました。



高校10回B組 H13年6月30日
古屋尚子先生を囲み12名の仲間が集まりました。



高校8回B組 H13年2月21日 (新宿中村屋)
傘寿を迎えた小澤芳子先生のお祝いで29名の教え子が集まり、クラス会報「年輪」の祝傘寿号を贈呈しました。



高女1回 H13年4月23日 (新宿・ほり川)
青山先生ご夫妻と松井智子先生を迎え生徒は32名が集い、みんな気分は女学生、でも立派な高齢者になりました。



高校23回F組 H13年11月17日 (銀座・魚屋宗兵衛)
連絡の途絶えていたクラスメートを様々な方法で見つけました。



高校26回F組 H13年6月10日 (新宿・T-HUT)
クラス会の間は皆高校生に戻れる楽しい時間でした。



高校23回B組 H13年6月9日 (有楽町・新日の基)
卒業して早30年、29年振りのクラス会に児玉先生をお迎えして、19名の仲間が集まりました。



高校17回F組 H13年7月14日 (荻窪・北乃一丁)
青山先生を囲み25名の仲間が集まりました。



卓球部OB・OG会(草門会) H13年7月14日 (母校)
毎年7月頃母校体育館で開催し、札幌、仙台、長野在住の方も参加しています。

井草会援助金制度のご利用について

井草会では、クラス会・同期会・OB/OG会などの会合に対して、一定の基準のもとで援助金を支給する制度を設けておりますので、どうぞご利用ください。ただし、支給限度額がありますので、ご注意ください。

利用基準：参加者が15名以上となる会合であること。
(65歳以上の方のご利用は10名以上です)
参加者1名当たり1,000円、上限50,000円。
クラス会は、30,000円を限度とする。

利用方法：

1. ハガキに「援助金希望」と明記し下記宛(援助金担当者：島田)に申し込んでください。折返し、援助金担当者から「援助金申請書」を送付します。
2. 行事終了後、下記の書類等を援助金担当者宛送付してください。
 - ① 援助金申請書(必要事項を記入)

- ② 参加者名簿(住所、電話番号等を記入)
 - ③ 参加者全員の写った写真1葉
 - ④ 400字以内の報告文
 - ⑤ 幹事の方のお名前(参加者の中から1名以上選ぶ)
3. 申請書類審査後、会計から指定口座に振込みます。なお、開催後の申請は援助金制度の対象となりません。詳細は、申請書添付の「援助金規則」をご覧ください。

平成13年度のご利用は、同期会(8組)、OB・OG会(2組)、クラス会(13組)合計23組でした。

井草会事業委員(援助金担当者) 島田 俊明
〒177-0044 東京都練馬区上石神井2-1-15-307
TEL/FAX 03-5934-0440

井草の思い出

小倉 義文 先生

(昭32年～39年在籍)

府立五中の恩師、真田幸男先生のお陰で、井草高校に採用していただきました。その前に定時制の工業高校の経験はありましたが、年をくった新米教師といったところでした。教科は数学と化学。校務分掌は生徒部、クラブの顧問はサッカー部でした。松島先生のお手伝いをさせて頂きましたが、これが私の幸運でした。

サッカー部が、東京都の代表として、静岡国体に出場、部員諸君との自然な付き合いが始まり、教科の方もサッカー部の顧問ということから、何となく親しまれたようでした。

都の決勝戦で、教育大付属に開始早々の1点を守り切り、抱き合って喜ぶ部員たちの姿、本大会で京都代表の山城高校に二回の延長で敗れた口惜しさ、疲れ切って足がつって、半ば這いながらボールを追う両校の選手達の姿は、今も生々しく眼に浮かびます。

学校に帰って授業でこのときの様子を話すと、「教科」の話よりも熱中して聞いてくれたことなどもホロ苦い思い出です。

多くの先生方に教えられ、また生徒諸君との組んずほぐれつの生活で、無事停年を迎えられた原点が七年間の井草高校にあると思います。

二人の子供もそれぞれ二児の親となり元気です。私は75歳、妻は69歳、年相応のボケと腰痛に悩まされながら、老夫婦二人、気ままで平和な毎日です。人様に迷惑を掛けないのが、自分にできるボランティア活動ですね。



菊地 広志 先生

(昭53年～63年在籍)

昭和53年4月から63年3月までお世話になりました。その後、伊豆の大島で4年、現任校の大崎で11年目を過ごしています。

当時の井草高校、今思うと夢のような学園でした(今も、そうあって欲しいと願っていますが・・・)。まだまだ若輩者の私を励まし教えてくださった多くの先輩先生方、授業のことだけでなく生活面や精神面などを語りかけてくれた生徒たち、どれもこれも当時の私にとっては、ありがたく新鮮な経験ばかりでした。

夏休みを待って出かけ、「エンヤコーラ」の掛け声で泳いだ戸田の海での臨海教室、夜遅くまで準備に追われた井草祭、グラウンドでファイアーを囲み踊ったフォークダンスや精神を燃やしつくした後に見上げた打ち上げ花火!・・・。まだまだ経験もないのに皆で滑った志賀高原でのスキー教室・・・。そんな多くの行事も、私の心の中で大切な宝物として残っています。

都立高校も大きな様変わりを強いられるようになってしまいました。しかし、生徒の心の在り方、生活の持ち方、ものの考え方は、本来あるべき姿から変えてはいけないと思います。

現任校も戸越公園の隣に位置し、周りには、昔ながらの商店街が多くあり、生徒達も人なつこく、素直な子たちです。当時貰った夢を失うことなく、残された教員生活を、精一杯生きている生徒達とともに頑張りたいと思います。



青山 兵吉 先生 安らかに

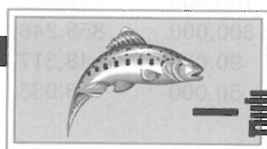
石 井 恵理子 (井草高校・美術、22回生)

今年の3月24日。ついにこの時が来てしまった、という気持ちでした。

2年前の井草祭の「青山先生をかこむ教え子達」展で、病院から車椅子で参加して頂いたとき、小さな声で「ここ(井草)に、居たい・・・。」と2度、3度と囁かれたのを、今でも涙とともに思い出します。

井草を愛し、この地をこよなく愛された先生は、私たち同窓生の心の柱でもありました。肌寒い雨が降りしきるなかでの、お通夜と告別式には、年代を越えて青山先生を慕うたくさんの教え子が集まりました。

心からご冥福をお祈りいたします。



一言通信

会費振込み用紙の「一言通信欄」およびホームページなどから抜粋しました。

☆安藤 数子 さん

(昭20・女1-1)

戦後56年、夏が来るとあの終戦の日を思い出さずには居られません。あれからの日々を生き残った人間として感無量です。

☆坂部(吉田) 節子 さん

(昭20・女1-3)

先日一回生の同期会に参加致しまして、青山先生御夫妻、なつかしいお友達とお逢いしまして、55年の歳月も吹飛びまして、楽しい楽しい1日を過ごし、思い出すと、今でも心が雲の上にいる様です。

☆市川 かほる さんのご主人、市川 富士夫 様

(昭26・高3-A)

本人は既に御連絡したように、一昨年(2000年)5月に病没いたしました。遺品整理中に、本票と共に2,000円が出てきました。故人の意を汲んで送金させていただきます。

(ご送金有難うございました。奥様かほる様のご逝去に心からお悔やみ申し上げます。ご遺志とのお申し出でございまして、謹んで拝受申し上げます。井草会)

☆山田(斎藤) 節子 さん

(昭28・高5-C)

盛り沢山の会報ありがとうございました。井草高校吹奏楽部が東京代表として全国大会に出場したといううれしいニュース、6回卒業生の沢田祐二氏が舞台ミュージカル(アニー)の照明デザイナーとして活躍なされ、数々の賞、紫綬褒章を受章なされたとのこと本当にうれしい、喜ばしいことだと思いました。卒業して48年になりますが、クラスのグループの友人達と年2、3回は交流を持てる幸せをかみしめています。

☆藤井(服部) ヒロ子 さん

(昭30・高7-B)

遠くから見守って、なつかしさを味わっている方が私らしいので悪しからず。

☆小坏(吉塚) 栄子 さん

(昭31・高8-B)

小澤芳子先生の傘寿をお祝いしました。先生の歩んでこられた道、母上、兄上のことなどお話をお聞きして感動しました。記念の文集もほぼ全員参加で発行することができました。

☆三輪(千浜) みどり さん

(昭54・高31-G)

いつも会報送っていただきありがとうございます。いつのまにか長男が高校生になりました。井草で過ごした3年間のようたくさんの楽しい思い出ができるといいなと思ってみえています。

☆赤沼 哲也 さん

(平3・高43-C)

卒後10年、あつという間だった気もします。けれども、その間に自分そして周囲の環境は様々に変化しました。

アテンションプリーズ!!

住所不明の方々を探しています

会員の方が、井草会に届出せず転勤や転居をされますと、会報をお送りしても、あて先不明で返送されてしまいます。名簿を効率的に作成するために、毎号誌上で宛先不明会員の情報提供を呼びかけておりますが、ご本人だけでなく、同期会、クラス会などを企画される幹事の方も、お手数ですが、転勤、転居、改姓など仲間の消息を、クラス幹事や、名簿担当者(新井)等に是非ご連絡ください。よろしくお願いいたします。

名簿委員長 新井 雅晴

幹事総会報告

6月2日(日)幹事・理事40名が出席し(280名の委任状を加え総会成立)平成14年度定例幹事総会が開催されました。

1. 初めに遠矢会長が昨年度の活動総括と今年度の重点目標を説明し、つづいて、名誉会長(梅村校長)から母校の現状、課題のご報告があり、井草会にも改めて協力・支援の要請がありました。

2. 議事に入り、前年度事業・決算報告、新役員人事(平成14・15年度担当)、組織変更に伴う会則(弔慰金規定を含む)の一部変更、および今年度事業計画・予算案が審議され、原案通り承認されました。

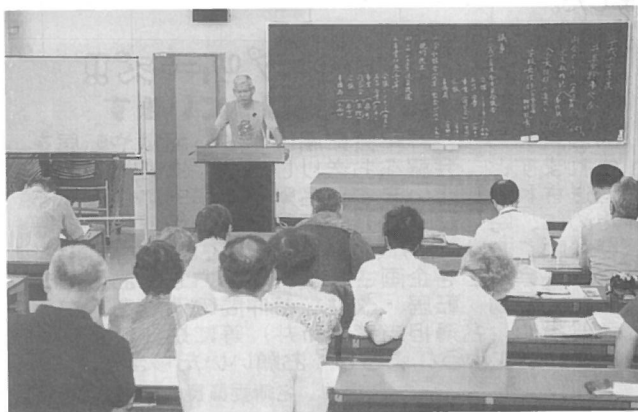
3. 隔年実施の同窓会は、毎回参加者が増え、多数の会員の方から継続への期待が高まっているので、内容の充実を図るため、事業委員会から切離し、「同窓会開催実行委員会」を新設することになりました。※

4. 来年度実施予定の同窓会に並行開催が期待される同期会等に利用し易くするため「援助金制度」の見直しを検討しています。

5. 中間法人化の問題は、毎年全会員による総会の開催が前提など運用上の制約、年会費徴収方法の大幅変更、基本財産の積立等検討すべき点多々あり、当分見送ることになりました。

6. 今年度より、井草高校に無人化警備方式が導入され、幹事総会を除き、休日の母校利用が不可能となりました。少人数の会議や作業は、学校のご好意で体育館(2階小会議室)の休日利用(事務局に事前に申込むこと)が可能ですが、合同委員会等の多人数集合の会議は、近隣の公共施設等(有料)を借用して行います。

7. 今年度は、校歌のCD化、井草祭参加、学校へのボランティア活動の推進など、多彩な活動を計画しています。



平成13年度決算報告・平成14年度予算

(単位:円)

	13年度予算	13年度決算	14年度予算
取 入			
繰 越 金	977,975	977,975	947,720
入 会 金	1,127,370	1,127,370	1,139,265
会 費 収 入	3,600,000	3,526,950	3,700,000
寄 付 金 収 入	300,000	278,000	300,000
雑 収 入	5,000	20,943	5,000
取 入 合 計	6,010,345	5,931,238	6,091,985
支 出			
会報委員会	2,450,000	2,397,128	2,500,000
会 報 通 信 費	1,350,000	1,364,850	1,370,000
会報発送代行費	160,000	117,682	130,000
会報等印刷費	800,000	858,246	800,000
委員会活動費	90,000	48,317	100,000
インターネット 分科会活動費	50,000	8,033	100,000
名簿・会費委員会	200,000	160,895	200,000
通 信 費	100,000	31,500	100,000
委員会活動費	100,000	129,395	100,000
事業委員会	1,550,000	1,248,937	1,150,000
井草祭参加費	200,000	107,355	200,000
OB・OG会・同期会・ クラス会援助費	600,000	608,565	500,000
委員会活動費	200,000	29,300	200,000
クラブ推進分科会活動費	50,000	0	50,000
校歌CD制作費	-	-	200,000
同窓会開催実行委員会※	-	-	100,000
同窓会開催費	500,000	503,717	50,000
委員会活動費	-	-	50,000
広報委員会	200,000	113,925	200,000
広報委員会活動費	200,000	113,925	200,000
事務担当費	120,000	106,262	120,000
事務担当活動費	90,000	106,262	120,000
同窓会法人化問題 検討分科会活動費	30,000	0	-
予算及び決算担当費	30,000	10,910	30,000
予算・決算担当活動費	30,000	10,910	30,000
理事会・委員会・ 幹事会費	600,000	245,461	900,000
会 議 費	200,000	16,276	200,000
交 通 費	200,000	116,000	200,000
通 信 費	150,000	109,785	150,000
事務所設備費等	-	-	300,000
活 動 費	50,000	3,400	50,000
事業支出項目 小計	5,150,000	4,283,518	5,200,000
次回名簿積立金	200,000	200,000	-
事務所開設準備金	500,000	500,000	-
予 備 費	160,345	0	891,985
次年度繰り越し金	-	947,720	-
支 出 合 計	6,010,345	5,931,238	6,091,985

平成14年3月31日現在財産目録

次回名簿積立金	700,000 (平成12~13年度分)
井草会事務所開設準備金	11,000,000 (平成6~13年度分)

平成14・15年度 役員・理事

会 長	遠矢 良隆	6 A		
事 務 局	大西 久江	5 E	野口 篤	10 D
	原田 美幸	24 D		
(法人化検討)	久米 浩一	26 D		
会 計	村上 俊雄	25 E	岡安 敏子	4 F
監 事 役	西田 実	17 B	久米 浩一	26 D
広 報	名方 幸彦	22 I	隆野 豊子	1
名簿・会費	新井 雅晴	13 D	谷 恭子	2 A
	渡辺 旭	2 B	金沢美保子	3 B
	鈴木 安江	3 E	中村 公	3 E
	平岩允里子	6 C	山口 淳子	7 E
	浅賀 捷代	10 B	津江 慎弥	10 E
	鈴木 善雄	20 F		
会 報	瀬尾 行弘	8 B	中西利一郎	8 D
	篠 利彦	15 E	植木 謙	21 D
	伊藤 栄次	21 I		
(インターネット)	西田 実	17 B	覚田 純子	21 D
	井上 晴夫	24 D	菅野万里絵	54 A
	田中 悠己	54 A	白方 翔	54 B
	林 ゆかり	54 B	宇田 勲	54 C
	岡田 太一	54 C	平野 一樹	54 D
	尾形美千代	54 D	沖山 理史	54 E
	山口真貴子	54 E	林 伸行	54 F
	香西 泉	54 F	井上喜多郎	54 G
	宮澤 彩	54 G		
事 業	安田 忠	21 G	畑中千代子	3 D
	福嶋 盈子	3 D	杉浦 忍生	6 B
	吉村 弘文	8 C	前島 一夫	8 D
	矢野 正敏	8 E	織部千恵子	8 E
	高橋 悠治	9 A	渡辺 正義	9 C
	大草 和子	9 D	島田 俊明	20 A
	覚田 純子	21 G	陶山 洋子	21 I
	日野 裕子	23 F	古屋 純子	23 I
	遠藤 尚之	23 H	川人 献一	23 I
(クラブ推進)	安田 忠	21 G	横沢 景彦	10 D
	月岡 健一	17 G		
◆同窓会開催	木村 忠正	9 D	谷 明	7 D
	谷口知栄子	11 F	熊谷 和子	15 F
	中村 啓子	18 E	岡田 至弘	26 G
	原田 英一	26 I		

兼務者は一部を除き省略しました。(敬称略)

アンダーラインの方は副会長です。

◆新設組織

新メンバーでスタートします

会長 遠矢 良隆



平成14年度、15年度の新しい役員が決まりました。これからの井草会の発展に大きな役割を担う役員構成となっております。特に、「同窓会」は、卒業生全員を対象としたイベントであり、楽しさと面白さを盛り込み、一層魅力あるものとするため、新たに「同窓会開催実行委員会」を新設しました。また、各委員会を担当するメンバーの方もかなり入れ替わりましたので、ご期待ください。

9月14日(土)～15日(日)の「井草祭」に立ち寄ってください!!

点茶席と再会を楽しめるコーナーを設けて、皆様のお越しをお待ちしています。

今年は、来年開催の2003同窓会の記念(招待)学年を中心として、卒業アルバムから、懐かしい井草や周囲の風景写真を学校のご好意で使わせていただき、展示します。

事業委員長 安田 忠



あなたに会いたい.....

来年2003同窓会を開催します。記念(招待)学年は、高校3・4回(古希)、13・14回(還暦)、そして25・26回(卒業30年)と54・55回(新入会)の方々です。懐かしい仲間との再会の場が、新しい出会いの場にもなります。大勢の皆様参加を心よりお待ちしております。同期会、クラス会、クラブ活動のOB・OG会の幹事の皆さん、同窓会への参加呼びかけをよろしくお願いいたします。記念(招待)学年の幹事の方は、9月14日(土)13:00から準備会を開きますので、井草祭会場にお集まり下さい。

同窓会開催実行委員長 木村 忠正

● 年会費 (2,000円) 納入のお願い ●

年会費を納入くださった方々、また、貴重な寄付金をお寄せくださった方々に厚くお礼申し上げます。井草会の活動は、新会員の入会金を加えた財源で支えられています。費用の節約に努めておりますが、母校の発展に寄与するための協力等の活動も必要となっておりますので、年会費や寄付金の納入につきまして会員各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。

会費委員長 新井 雅晴

寄付者名簿

(平成14年3月31日現在)

平成13年度に、下記の方々よりご寄付をいただきました。心からお礼申しあげます。ご芳志の主旨に沿い有効に使わせていただきます (井草会) (敬称略)

■高女1回生■	渡辺正義 8口	中村福子 3口	田中英明 3口	中村一郎 8口
末永京子 10口	木村忠正 8口	Korn千鶴子 8口	■高校21回生■	■高校34回生■
吉田真赅 9口	渡辺節子 3口	工藤登代子 10口	柴田敏朗 10口	中西正典 1口
■高女2回生■	野口享子 3口	■高校13回生■	小宮順子 3口	高野郁人 1口
榎本ツネ子 3口	■高校10回生■	平尾勝鎮 8口	小宮博 3口	■高校35回生■
■高女4回生■	関口素子 1口	松前正子 1口	■高校22回生■	平出泉 3口
阿部妙子 10口	前田泰子 3口	■高校14回生■	正村嘉彦 1口	■高校37回生■
永岡富美子 8口	佐野幸子 8口	松本洋子 3口	■高校23回生■	井上健介 1口
■高校3回生■	金沢葵 9口	小島慶子 2口	田中隆枝 3口	■高校39回生■
岡田瑞賀 3口	野口篤 2口	本多茂子 3口	原島幸子 3口	山口直和 2口
大友朝子 3口	横沢景彦 3口	■高校15回生■	山田博子 3口	■高校41回生■
■高校4回生■	黒田俊宏 5口	川添洋子 3口	■高校24回生■	匿名 1口
藤原輝子 3口	金澤永子 3口	小野節子 3口	井上晴夫 8口	■高校43回生■
野口和子 3口	■高校11回生■	■高校16回生■	藤谷和子 3口	赤沼哲也 10口
■高校5回生■	本間一行 2口	吉野宏 2口	■高校26回生■	■高校45回生■
山田節子 1口	清水宏之 3口	■高校17回生■	杉野俊哉 1口	石河和夫 1口
篠田淑子 3口	宮武信子 1口	石川美津子 3口	岩倉昭博 3口	山本恵子 2口
■高校6回生■	■高校12回生■	■高校18回生■	別所嘉彦 5口	■高校46回生■
早船聖生 3口	山崎三千代 1口	石川陽一 3口	■高校29回生■	菅野英則 1口
■高校8回生■	長沢容子 1口	郡司明郎 3口	星野篤 1口	
矢口恵美子 1口	内藤千与孝 3口	■高校19回生■	松本士郎 3口	
植村紫津子 1口	中林保彦 3口	市川紀子 3口	■高校31回生■	
山崎良子 1口	細谷春來 1口	■高校20回生■	阿部恵 1口	
■高校9回生■	八百洋子 1口	野崎暁 1口	■高校33回生■	

総計 79名 278口

(一口：1,000円)

会報の詳細記事はホームページでご覧になれます

井草会では、住所が判明している約1万4千名の会員に、「井草会報」をお届けしていますが、12ページ版という紙面には制約があり、残念ながら、割愛した記事や内容も毎年幾つかあります。また、会報のカラー化の要望も予算の点から難しいのが現状です。

それらを補うため、数年前からインターネットのホームページを開設し、同窓会活動の詳細をお伝えしています。今後とも、会員の皆さんが、随時気楽にホームページにアクセスして、最新の井草会や母校の活動状況を知っていただけるよう、充実した内容に更新していきますので、どうぞご期待ください。

更新されるホームページの内容ですが、イベントの案内や活動については、より詳細な報告記事をお伝えします。

さらに、クラス名簿・不明者リスト・会費納入状況などの情報提供を通じて、同期会やクラス会の企画に役立つような新たな支援活動も推進していきたいと考えています。

将来的には、すべての同窓会に縁のある人たちが、世代を越えてお互いに交流し合えるように双方向通信の基地的な役割を担い、会員の連帯の輪を拡げるお役に立てれば、校歌にある「世界の前にわれ等あり・・・」の実現に向けての飛躍の一步となるとの思いで頑張っていきます。

ホームページの改善のため、アクセスして下さった方々のご意見、ご要望、ご感想などをお待ちしています。

インターネット活用分科会長 西田 実

編集後記

随分会議を開いたな！自分一人位抜けても・・・なんて思いつつ出席すると、仲間の熱気と白熱した議論に圧倒されたことを思い出す。

今日は久しぶりの五月晴れ。のんびりと出掛けたい気持ちを抑え、また、編集に取り組む。頑張ろうと思ひ直す。

何でも挑戦しようという精神で、試行錯誤の結果、ページを並べ替えた

だけでも印象が新鮮になるのには驚いた。

タイトルの「井草会」は、同窓会の名称なので、「井草会報」に変えることに意見が一致しました。まだ、仮称ですが、デザインを整えて、正式名称としたいと思っています。

インターネット活用分科会の西田さん達の努力で、保存記録性に優れた会報と映像性、速報性、情報量の点

からも勝っているインターネット(情報通信メディア)の二本立てで井草のニュースをお伝えできる体制が整いつつあります。

本号(35号)ご覧になってのご感想、ご意見、ご要望など何でも結構です。お聞かせ頂けると幸いです。よろしくお願ひいたします。

平成14年6月21日

会報委員会一同

郵便為替：00120-4-84359 井草会事務局TEL&FAX：0120-066-193

ホームページアドレス：http://home2.highway.ne.jp/iharuo/